

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書  
(平成29年度)

園名 ( 神和認定こども園 )

	評価基準	評価内容
I	心の育ちを優先し、 生きる力の基礎を育 む教育・保育	<p>○子どもたちの自由な発想を取り入れ、豊かな体験ができるようにしており、高い質が保たれている。</p> <p>○子どもたちにとって安心して楽しい生活の場となっている。今後、動植物に接したり、自然を感じたりしながら活動できる環境が整えられるようになると、より豊かな体験が得られる。</p>
II	異年齢集団での遊び や生活を通して社会 性を培う教育・保育	<p>○子どもたちの生活は、楽しく自由に遊ぶ時間が確保されており、友達同士の関わりの中で活動しながら安心して過ごしている。乳児から幼児まで環境を通して行う保育が実現されており、保育者の高い意識のもと、保育室の環境も充実している。</p>
III	自尊感情を育むとと もに豊かな人権感 を養う教育・保育	<p>○子どもの理解を基盤に環境を通じた教育・保育が行われている。乳児から年長児までそれぞれの年齢に合った教育・保育を実施し、主体的な学びが可能となるような環境や関わりをすることで、豊かな人権感覚が育まれると考えられる。</p>
IV	小学校との連携	<p>○小学校連絡会、小学校から職員が来園しての情報交換、児童と園児が交流するなどし、小学校と連携を深めている。</p>
V	教育・保育の内容の 保護者への説明	<p>○入園説明会や入園式、親子親睦会等の園長あいさつの際に、「入園のしおり」などを用いて保育理念、保育方針、保育目標等について説明・周知している。</p>
VI	職員の資質向上のた めの取組	<p>○園内研修、外部研修、伝達研修、交流研修、公開保育など、様々な手法により研修を行っている。</p> <p>○保育教諭の研修計画については、役職、経</p>

		<p>験年数に応じた研修計画を策定し、外部研修に参加している。研修内容は、報告書や資料の回覧により周知を図っている。</p> <p>○毎月「保育教諭自己評価チェックリスト」で自分の保育をチェックし、振り返る機会を設け、各保育教諭が目標を持って取り組む仕組みがある。</p>
VII	安全管理	<p>○事故、感染症、衛生管理、防災について、マニュアル、フローチャート、年間計画などを整備し、役割分担表で担当者を設置し、安全管理に取り組む体制を整備している。</p> <p>○アレルギー児童への対応も適切に行われている。月1回、避難訓練（火災・地震・不審者）を実施し、安全管理に関する研修や職員会議での検討を行い、職員へ周知している。</p>
VIII	地域の子育て拠点としての取組	<p>○園庭開放、ひよっこクラブ、プレママおしゃべり会、しんわおはなし会、親子の絆づくりBPプログラム等、地域の保護者や子どもが来園する機会を設け、子育て相談には子育て支援担当保育教諭が応じている。</p>
IX	地域において子育て支援を行う団体との連携	<p>○園長会を通して、医療機関、行政担当機関などと連携している。人形劇や吹奏楽、手品等のボランティア団体、高齢者施設等との連携も継続している。</p> <p>○5歳児が福祉施設で歌ってふれあう機会を持ち、なかよしクラブ、七夕飾り、運動会、餅つき、お祭りごっこなどで地域の方と交流している。アフタースクール（夏休みに来園）、トライやるウィーク、インターンシップなども受け入れている。</p>